

# 現場情報の集積と保存システム

インペリアル・カレッジ・ロンドン  
客員教授 岩下繁昭

# 1. 工程表作成システム

- バーチャートで、操作しやすい工程表作成、修正システム。
- 画面に表示された作業ユニットをクリックすることにより、所要日数の変更、開始日の移動などを簡単に行うことができる。
- 施工管理・チェックが必要な作業ユニットの表示や、品質管理チェックの日程なども工程表にイベントとして表示される。
- 工事開始後の進捗に合わせた工程表の変更も容易である。

# 1. 1 作業ユニット

- 作業する工事業者が異なる人の切れ目。
- 作業の時間的切れ目。
- 品質管理の切れ目。
- 原価管理の切れ目。
- 養生期間なども作業ユニットにする。

## 1. 2 所要日数

- 作業ユニットの所要日数は、延床面積、設備数量などをパラメーターとして、標準日数から自動的に設定される。
- 作成された工程表の作業ユニットを選択し、所要日数を変更することができる。
- 所要日数を増やすと、後続作業ユニットの開始日は、自動的に移動される。

## 1. 2 余裕日設定

- 作成された工程表をできるだけ変更しないようにするために、あらかじめ工事の遅れをリカバーするための余裕日を設けておくようにする。
- 天候などで遅延の可能性の高い作業には、あらかじめ余裕日を設けておくと、工程表作成の際に自動的に余裕日とその作業の後に設定される。
- 工事開始後の進捗に合わせての工程表の修正の際には、余裕日は自動的に消化吸収される。

## 1. 3 作業開始・終了条件

- **開始前終了作業**
- ある作業ユニットを開始する前に必ず終わっていない作業ユニット

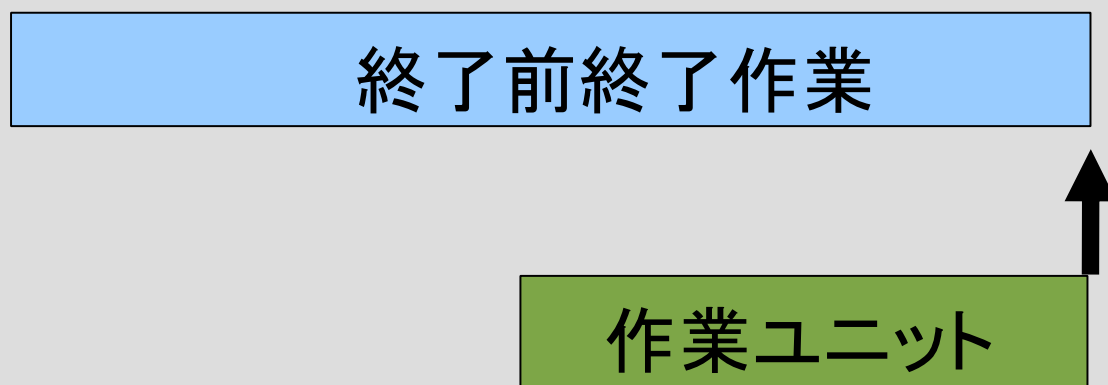
開始前終了作業



作業ユニット

例えば、屋根下地工事が終了していないと、屋根葺き工事は開始できない。

- ・ 終了前終了作業
- ・ ある作業ユニットの終了日が、その作業の終了日前でなければならない作業ユニット。



例えば、浄化槽設置工事は、屋外排水管工事の終了前に終了していなければならない。

- **条件解除**

- 設定されている「作業開始・終了条件」を工程表上の作業を選択し、解除することができる。
- 解除されると、それ以降、工程表の修正を行う際に反映される。
- たとえば浄化槽設置は、外部足場撤去が開始前終了作業となっているが、現場によっては外部足場とは関係ない場所に設置される。
- こうした場合は、外部足場撤去は開始前終了作業とならない。



## 1.4 休日設定

- 工程表の休日は自動設定され、工事も休日には中断される。
- 工程表上の休日をクリックし選択すると、その休日を稼働日に変更することができる。
- 工事の進捗で遅延が発生した場合、休日は遅れを取り戻す良い機会でもある。

## 1. 5 工程表の作成・修正

- 作業所要日数、作業開始・終了条件、余裕日、休日などから、工程表が自動作成される。
- 個々の作業所要日数、作業開始・終了条件、余裕日、休日などを変更することで、工程表が自動的に修正される。

## 1. 6 Excelでの出力

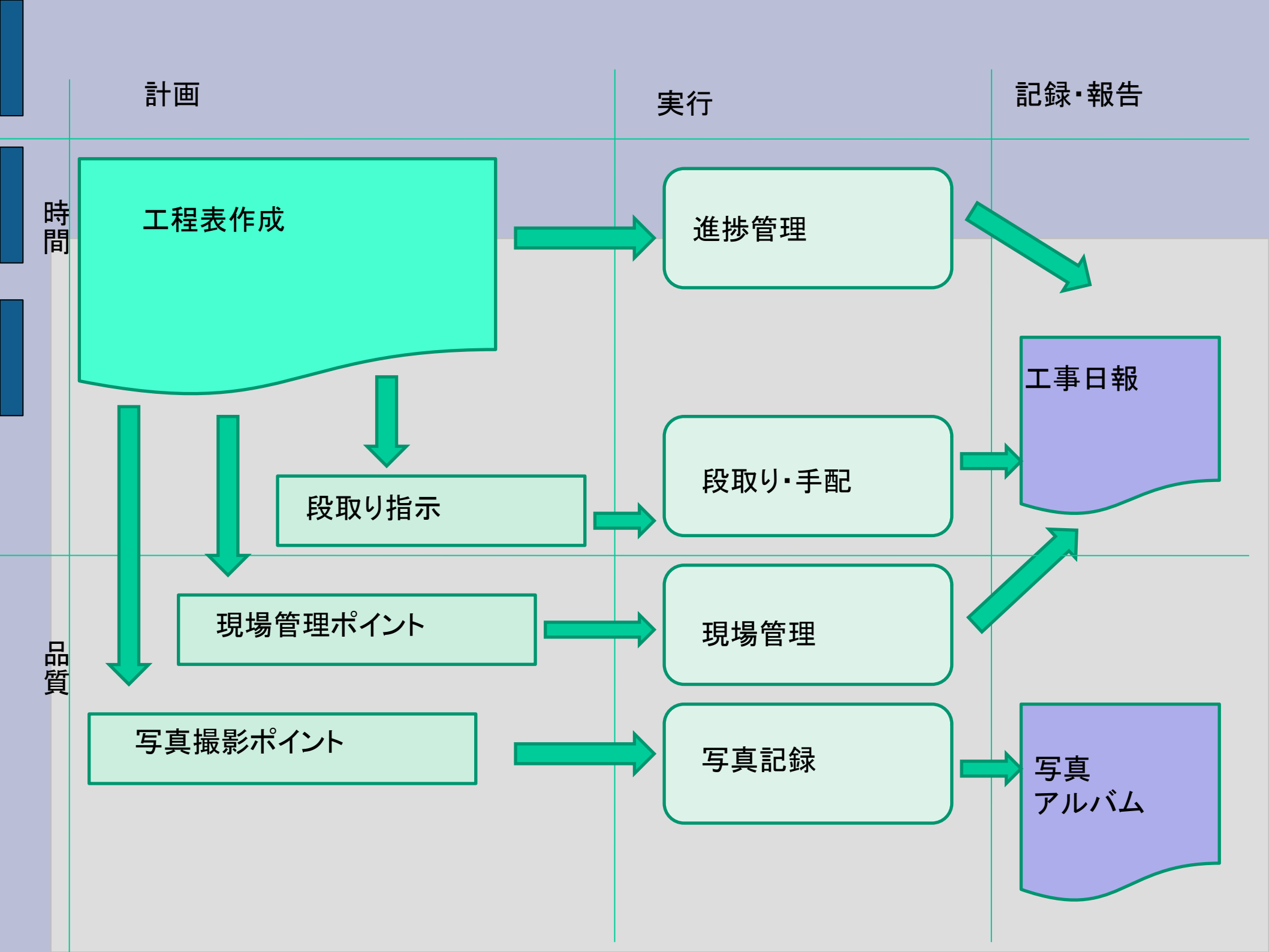
- 作成された工程表は、関係者に電子メールなどで送付できるようExcelのファイルとして出力することができる。
- 作成されるExcelファイルは、閲覧者が修正できないよう、パスワードでの保護がなされている。

## 1.7 現場管理日程表

- 現場監督が受け持つ複数の現場の工程表を統合して、現場監督が施工チェックに行かなければならない作業ユニットが、どこで現場で行われているか表示させた現場管理日程表が作成できる。

## 1. 8 品質管理日程表

- 工務店の進行中のすべての現場の工程表を統合し、設計監理者による品質チェックの実施日の日程表を作成する。
- 品質管理日程表には、確認検査機関による中間検査、完了検査の実施希望日も表示できる。



# 工程データ

<div> <div>戻る</div> <div>挿入</div> <div>削除</div> <div>チェック</div> <div>同時作業</div> <div>移動</div> </div>						開始前終了作業					後続ウェイト	準備日
作業コード	作業ユニット	担当業者	標準日数	余裕日		1	2	3	4	5		
28	収納・ドア施工	h	2	0		27						
29	和室造作	h	4	0		28						
30	内部左官工事	n	2	0		29						
31	クロス施工	o	3	0		27						
32	内部タイル	p	1	0		27						
33	サイディング	q	3	0		12	14					
34	コーキング	r	1	0		33						
35	外部塗装	s	1	0		34						
36	雨樋	j	1	0		35						
37	足場ネット解体	f	1	0		36						
38	設備器具取付	d	2	0		32						
39	給排水工事(器具・外部配管)	d	2	0		21	32	38				
40	ガス工事(配管接続)	m	1	0		19	38					
41	電気器具取付	c	2	0		32						
42	基礎仕上げ	n	1	0		37						
43	外部タイル	p	1	0		42						
44	建具吊込	t	1	0		30	31					
45	畳敷込	u	1	0		44						
46	カーペット施工	v	1	0		44						
47	看板、仮囲い撤去	a	1	0		46						
48	仮設トイレ撤去	b	1	0		46						
49	仮設電気撤去	c	1	0		46						
50	仮設水道撤去	d	1	0		46						
51	外線受電(電気引込)	c	1	0		49						
52	清掃・クリーニング	w	1	0		46						
53	残材処理・整地	x	1	0		47	48	49	50			

開始前終了作業  
の定義

標準作業日数





		工事開始日 5月27日 工事完了日 8月5日						
		05/26	06/02	06/09	06/16	06/23	06/30	07/07
		第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週
	仮設外ハ撤去							
	仮設電気設置							
	電気工事(内部配線)							
	電気器具取付							
	仮設電気撤去							
	外線受電(電気引込)							
	仮設水道設置							
	給排水工事(内部配管)							
	設備器具取付							
	給排水工事(器具・外部配管)							
	仮設水道撤去							
	基礎工事							
	基礎養生							
	外部足場							
	足場ネット解体							
	躯体建方							
	屋根下地							

基礎工事に余裕日を設定する。

余裕日設定

日

戻る

決定

a	看板、仮囲い撤去							
b	仮設外ハ設置							
b	仮設外ハ撤去							
c	仮設電気設置							
c	電気工事(内部配線)							
c	電気器具取付							
c	仮設電気撤去							
c	外線受電(電気引込)							
d	仮設水道設置							
d	給排水工事(内部配管)							
d	設備器具取付							
d	給排水工事(器具・外部配管)							
d	仮設水道撤去							
e	基礎工事							
e	基礎養生							
f	外部足場							
f	足場ネット解体							

基礎工事の後ろに1日の余裕日が付いた。

05/26	06/02	06/09	06/16	06/23	06/30	07/07	07/14
第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週

旧暦

2008/06/23	(月)	甲午	赤口	六白
2008/06/24	(火)	乙未	先勝	五黄
2008/06/25	(水)	丙申	友引	四緑
2008/06/26	(木)	丁酉	先負	三碧
2008/06/27	(金)	戊戌	仏滅	二黒
2008/06/28	(土)	己亥	大安	一白
2008/06/29	(日)	庚子	赤口	九紫

週をクリックすると旧暦が表示される。

建て方を大安にするために開始日を土曜日に移動

5/26 (月)先勝					名古屋太郎様邸 様邸 工程表							
戻る	移動	日数変更	余裕日	休日	工事開始日		5月27日		工事完了日		8月8日	
					05/26	06/02	06/09	06/16	06/23	06/30	07/07	07/14
					第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週
a	看板、仮囲い設置											
a	看板、仮囲い撤去											
b	仮設トイレ設置											
b	仮設トイレ撤去											
c	仮設電気設置											
c	電気工事(内部配線)											
c	電気器具取付											
c	仮設電気撤去											
c	外線受電(電気引込)											
c	仮設水道設置											
d	給排水工事(内部配管)											
d	設備器具取付											
d	給排水工事(器具・外部配管)											
d	仮設水道撤去											
e	基礎工事											
e	基礎養生											
f	外部足場											
f	足場ネット解体											
g	躯体建方											
h	屋根下地											
h	外壁下地											

建て方の前に2日の余裕日が付けられた。

所要日数変更

3 日

戻る 決定

建て方の所要日数を3日に変更

5/26 (月)先勝					名古屋太郎様邸 様邸 工程表																
戻る		移動		日数変更		余裕日		休日		工事開始日		5月27日		工事完了日		8月9日					
										05/26		06/02		06/09		06/16		06/23		06/30	
										第1週		第2週		第3週		第4週		第5週		第6週	
a	看板、仮囲い設置																				
a	看板、仮囲い撤去																				
b	仮設トイレ設置																				
b	仮設トイレ撤去																				
c	仮設電気設置																				
c	電気工事(内部配線)																				
c	電気器具取付																				
c	仮設電気撤去																				
c	外線受電(電気引込)																				
d	仮設水道設置																				
d	給排水工事(内部配管)																				
d	設備器具取付																				
d	給排水工事(器具・外部配管)																				
d	仮設水道撤去																				
e	基礎工事																				
e	基礎養生																				
f	外部足場																				
f	足場ネット解体																				
g	躯体建方																				
h	屋根下地																				
h	外壁下地																				

建て方の所要日  
数が3日に変更  
された。

建て方の所要日数が3日に変更された。

工程表に合わせて  
段取工程表を表示

名古屋太郎様邸 様邸 段取工程表						
年月日	曜日・休祭日	暦	現場開始作業	手配内容	手配者	手配先
2008/5/12	月	大安				
2008/5/13	火	赤口		現地調査・近隣挨拶 仮設水道役所確認	工務店 水道工事業者	工務店 役所
2008/5/14	水	先勝		道路使用許可申請	工務店	警察
2008/5/15	木	友引		コンクリート品質試験依頼	工務店	SAREX事務局
2008/5/16	金	先負				
2008/5/17	土	仏滅		地鎮祭手配	工務店	関係者
2008/5/18	日	大安		仮設電気工事申請 仮設水道申請	電気工事業者 水道工事業者	電力会社 水道局
2008/5/19	月	赤口				
2008/5/20	火	先勝				
2008/5/21	水	友引		仮設トイレ手配	工務店	トイレ業者
2008/5/22	木	先負				
2008/5/23	金	仏滅				
2008/5/24	土	大安				
2008/5/25	日	赤口				
2008/5/26	月	先勝				
2008/5/27	火	友引	看板、仮囲い設置			
2008/5/28	水	先負	仮設水道設置			
2008/5/29	木	仏滅	基礎工事			
2008/5/30	金	大安				
2008/5/31	土	赤口				
2008/6/1	日	先勝				
2008/6/2	月	友引				
2008/6/3	火	先負				
2008/6/4	水	大安	基礎養生			
2008/6/5	木	赤口				
2008/6/6	金	先勝				
2008/6/7	土	友引				
2008/6/8	日	先負		道路使用許可申請	工務店	警察

## 2. 工事進捗管理システム

- 工事の進捗を管理、記録するシステム。
- 工事関係者が工事の進捗状況を共有することによって、工事をスムーズに進めることができる。
- また記録された作業日数、作業工数などのデータを分析することによって、より実現可能な工程表を作成したり、原価（実行予算）の検討を行うことができる。

## 2. 1 進捗状況の把握

- 現場監督が、毎日現場に行き、工事の進捗状況を確認するのは難しい。
- そこで現場に入った工事業者が、作業終了時に何らかの方法で進捗状況を記録し、連絡する必要がある。
- 携帯電話でWebに直接書き込んでもらうといった方法も可能であるが、こうしたIT化には馴染めない人もいて、その徹底は難しい。

- 退場時に電話連絡
- 現場からの退場時に、それぞれの作業者がその日の作業内容、作業人員、作業時間を、現場監督に電話連絡する。
- しかし現場監督がいつも電話を受けられるとは限らないので、誰が受けても簡単に記録できるような仕組みが必要である。

- 現場で進捗状況シートに記入
- 現場に日々の作業状況を記入するシートを置き、作業者が退場時に記入する。
- 現場監督が現場に行った際に、シートを回収する。
- 現場には工務店で常雇の大工が、工事期間中ほとんどいるので、大工が毎日回収し工務店に届けるといった方法も可能である。



- 携帯電話のE-mailで連絡
- 現場に日々の作業状況を記入するシートを置き、作業者が退場時に記入するとともに、記入シートにあるコード番号をE-mailで送信する。
- 業者コード:02
- 作業コード:23
- 開始時間:0800
- 終了時間:1700
- 人数:2

## 2. 2 進捗状況記入シート

- これらの3つの進捗状況の把握方法のうち、どれがいいかは、工務店や現場によって異なってくる。
- どの方法をとるにしても、進捗状況記入を容易にするシートが必要がある。
- 「工事進捗管理システム」は、個々の現場に合わせた「進捗状況記入シート」を作成することができる。
- プリントされた「進捗状況記入シート」を現場や工務店に置いておくことによって、進捗状況の把握が容易になる。

## 2. 3 進捗状況入力

- 「進捗状況記入シート」をもとに、容易な操作で短時間に進捗状況を入力することができる。
- 業者コード:
- 作業コード:
- 開始時間:
- 終了時間:
- 人数:2

## 2.4 進捗情報の共有

- 日々の進捗状況の入力結果は、工事関係者の間で共有できるようにする。
- 「工事進捗管理システム」では、進捗状況を記述したメール本文が自動作成され、工事関係者や施主に自動送信される。

## 2. 5 実績工程表

- 入力された進捗状況データをもとに、実績工程表を作成することができる。

## 2. 6 作業日数・工数集計

- 入力された進捗実績データをもとに、個々の作業ユニットの作業日数、作業工数を集計することができる。
- 集計された作業日数を、床面積、仕上げ面積などから分析することによって、工程表作成における作業日数の予測に活用することができる。
- また作業工数を、床面積、仕上げ面積などから分析することによって、原価（実行予算）作成での歩掛りデータとして活用することができる。

**工事实績入力**

業種名 基礎工事業者 作業名 割栗・砕石

人員  
☐ 1人 ☐ 6人  
☒ 2人 ☐ 7人  
☐ 3人 ☐ 8人  
☐ 4人 ☐ 9人  
☐ 5人 ☐ 10人

作業開始時間 8:00 作業終了時間 17:00

進捗状況  
☐ 着手 ☐ 進行 ☒ 完了

戻る 決定

現場からの電話  
報告をもとに工事  
実績を入力

名古屋太郎様邸					担当	愛知五郎
2008/5/27	基礎工事業者	2	8:00	17:00	割栗・砕石	完了
(火)						
友引						
2008/5/28						
(水)						
先負						
2008/5/29						
(木)						
仏滅						

	名古屋太郎様邸					担当	愛知五郎
(第1週)							
年月日	工事实績(職種)	人	開始	終了	作業内容	状況	工事管理事項
2008/5/26							
(月)							
先勝							
2008/5/27	基礎工事業者	2	8:00	17:00	割栗・砕石	完了	
(火)							
友引							
2008/5/28							
(水)							
先負							
2008/5/29							
(木)							

工事に合わせて工事管理  
事項候補が表示されるの  
で、実施したことをクリック  
する。



年月日	打合わせ事項	特記事項
2008/5/26	○	
2008/5/27		○
2008/5/28		
2008/5/29	●	●
2008/5/30		
2008/5/31		●
2008/6/1	●	●
備考		

この日、現場に関して打ち合わせた事項を入力する。

特記事項を自由に記述する。

このメールは、「工事日報」で  
自動送信しているものです。

嵯玲玖珠様邸の工事進捗状  
況のお知らせです。

\*\*\*\*\*

足場業者の下屋上足場掛け  
作業が、完了しました。

\*\*\*\*\*

今後ともよろしくお願いいたします  
ます。

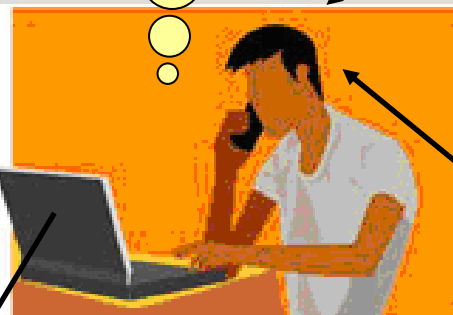
現場担当者: 山田太郎



電話連絡をもと  
に日報に入力



作業終了時に  
電話で連絡



ネット経由で携帯メー  
ルで現場状況を関係  
者に自動連絡



工事実績入力をもとに、  
実績工程表が自動的に  
作成される。

[illegible]

工事実績入力をもとに、  
工数集計が自動的に行  
われる。



### 3. 工事写真アルバム

- デジタルカメラの解像度が高くなり、工事写真のアルバムを作成すると、膨大な容量になってしまう。
- また大きさを調整し、工事写真アルバムとして貼り付けるのも、結構大変な作業である。
- 「工事写真アルバム」は、写真の大きさを自動調整し貼り付け、かつ容量を大きさに合わせ自動的に圧縮する。
- 複数のカメラで撮影した写真を、日付順に整理してくれる。

## 3. 1 撮影ボード作成

- 撮影の際に、黒板に現場名、工事名、年月日などを記入し、写真と一緒に写すことによって、個々の写真の説明ができる。
- 黒板に代わる、A4サイズの撮影ボードを自動的に作成することによって、写真の説明だけでなく、必要な撮影箇所の手示にも活用できる。

## 3. 2 写真貼り付け・整理

- 写真を1枚ごと、あるいはファイル単位で、アルバムの所定の位置に大きさを調整し、自動的に貼り付けることができる。
- 複数のカメラで撮影した写真も、撮影日時順に自動的に並び変えられる。
- 不要な写真を削除すると、自動的に詰めてゆく。
- 写真には撮影日時が自動表示され、工事名などのコメントもマウスのクリックだけで簡単に加えることができる。

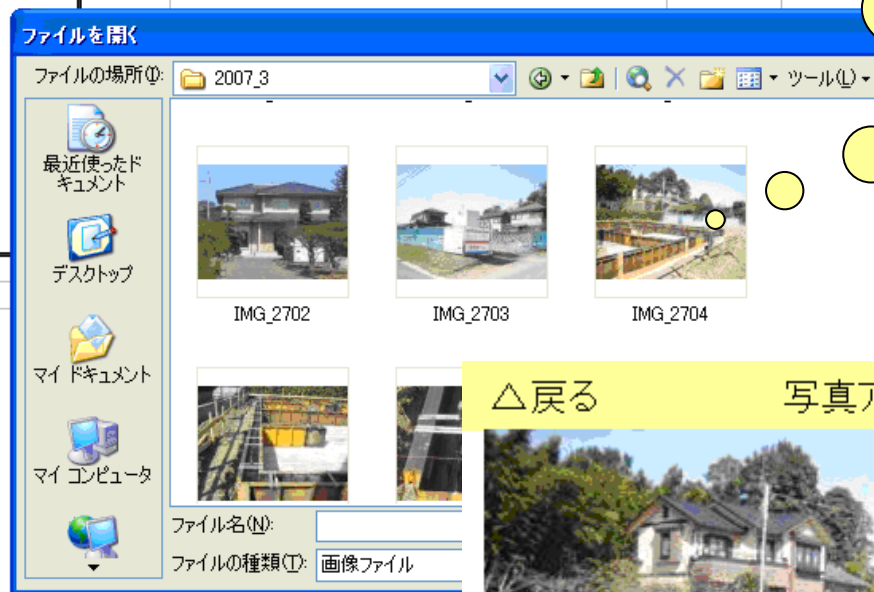
## 3. 3 写真検索

- 撮影日時、コメントなどをもとに、写真撮影日程表が自動的に作成される。
- また工事写真アルバムの巻末に、撮影日時や工事別の索引が自動作成される。
- パソコンなど電子媒体で見るときには、写真撮影日程表の該当箇所をクリックすることによって、関連した写真が自動的に表示される。
- また印刷された工事写真アルバムを見る場合は、巻末に付けられた索引から必要な写真を探すことができる。



写真アルバム

デジカメやフォルダーなどの写真を選択する



自動的にサイズが調整され貼り付けられる。

撮影時刻なども自動的に記入される。

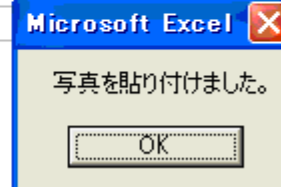
△戻る

写真アルバム



F:\2007\_3\IMG\_2704.JPG

Canon IXY DIGITAL 50|2007/03/01 12:26





写真メモ

撮影日	見出し	説明
2007/03/01	基礎	基礎コンクリート打設直前の全景
	敷地	アンカーボルト・据付形状高さ・埋込
	仮設	ホールダウン・据付形状高さ・埋込長
	基礎	基礎コンクリート打設直前の全景
	木工事	基礎コンクリート打設中の全景

戻る 決定

見出しを選ぶと該当する説明候補が表示される。



アルバムは1頁90枚、全部で5頁、450枚。

撮影日、説明などの一覧表示がされる。

最後に貼り付けられた写真に移動。



すべての写真の撮影日を探索しもっとも早い日のある週の月曜日から始める。

[illegible]

見出し、該当  
日を押すと関  
連した写真が  
表示される。

## 4. 施工管理記録システム

- 施工管理者として、施工中の作業および作業結果をチェックし記録する。
- 作業ユニットの中で、現場監督が必ず作業に立ち合わなければならないものをあらかじめ決めておくようにする。
- 工程表でも施工管理が必要な作業ユニットが表示され、現場監督に現場へ出向くよう促す。
- 施工管理が必要な作業ユニット毎に、チェックリストを作成しておくようにする。

## 4. 1 チェックすべき作業ユニット

- 現場監督が必ず現場に行き、作業をチェックし、工事写真を撮るべき作業ユニット。
- 地縄張り
- 水盛り遣り方
- 基礎配筋
- 基礎コンクリート打設
- 土台敷き込み
- 軸組建方精度調整

- **施工管理の回数**

- 住宅メーカーの場合、現場監督一人が受け持つ現場は15ヶ所程度と言われているが、工務店の場合2～3ヶ所程度であろう。
- これならばほぼ毎日、少なくとも2日に1回は現場に行き、施工管理ができる。
- しかし施工管理ではなく、手配や段取りに追われ、施工チェックにまで手が回らない現場監督も少なくない。



- **現場監督による施工チェック**
- もちろん建て方精度検査は、建て方精度調整しながら大工が検査し、現場監督はそれをチェックし、大工の精度調整の結果をいちいち現場監督がチェックする必要はないかも知れない。
- 必要な施工工程内検査は、基本的には作業者自身が行うようにすべきであろう。
- それでも現場監督がなすべき施工チェックはあるはずだ。
- 現場監督の仕事が手配と段取りだけならば、現場監督は現場に行く必要がない。

## 4. 2 チェックと入力方法

- チェックシートの印刷
- 作業ユニットごとのチェックシートをプリントし、これを用いて現場でチェックする。
- チェックシートの内容は、工務店ごとに追加・修正ができる。

- シートを用いて現場でチェック
- チェック内容は、作業中のチェックと作業結果のチェックに分かれる。
- 不適正な作業、結果の不良箇所はチェックシートにマークするとともに、口頭で作業者に指示する。
- 不適正な作業、結果の不良箇所については、合わせて写真も撮るようにする。

- チェック結果の入力
- チェックシートでマークされた箇所を、クリックしてチェック結果を入力する。
- 写真を貼り付けることによって、チェックシートに写真番号、さらに貼り付けられた写真に自動的に不適正、不具合内容のコメントが付けられる。

## 4. 3 チェック結果の分析

- 施工チェックの結果は、中間検査、完了検査の際に、施工管理記録として提出することができる。
- また多くの現場の施工チェック結果を分析することによって、どのような作業ユニットで不適正な施工が起こりがちか、また施工結果が不良になりがちなことを知ることができる。
- さらに工事業者別にチェック結果を分析することによって、評価を行うことができる。

## 5. 品質管理記録システム

- 設計監理者として、工程の区切りごとの施工結果を検査し記録する。
- 検査結果は施主に渡すようにする。
- 外部の評価機関に検査を依頼する場合も、詳細な検査は期待できないので、工務店側の設計者も品質チェックを行うようにする。

## 5. 1 品質チェック段階

- 住宅性能表示の建設評価における4段階の現場検査に基づいて行う。
- 基礎配筋工事完了時検査
- 構造躯体工事完了時検査
- 内装下地張り直前検査
- 竣工検査

## 5. 1 検査と入力方法

- チェックシートの印刷
- 検査段階ごとに検査のためのチェックシートをプリントし、これを用いて現場で検査する。
- チェックシートの内容は、工務店ごとに追加・修正ができる。



- シートを用いて現場検査
- チェックシートをもとに施工結果を検査する。
- チェック項目で不具合をシートでマーキングするとともに、現場の不具合箇所にはポストイットを貼り、現場監督に手直しを指示する。
- 検査に合わせて写真を撮影すべき箇所はあらかじめきめられており、合格、不合格にかかわらず写真を撮るようにする。

- チェック結果の入力
- チェックシートでマークされた箇所を、クリックして検査結果を入力する。
- チェックシートの写真貼付欄をクリックして、写真を貼り付けることによって、チェックシートに写真番号、さらに貼り付けられた写真に自動的にその内容のコメントが付けられる。

## 5. 2 検査結果の取り扱い

- 品質チェックは、厳格に行わなければならないが、あまり不合格の指摘が多いと、検査シートを施主に渡した際に、不安を与えてします。
- ほとんどの場合、不具合があっても手直し合格となる。
- 検査結果をどう施主に伝えるべきかは、極めて難しい。

現場チェック  
リストを印刷  
する。

チェックリスト  
は工務店毎  
に変更可能。

写真撮影が  
必要な箇所  
も指示されて  
いる。

① 基礎配筋完了検査 1/2		担当者	検査対象者	検査日
検査項目	検査事項チェックリスト	判定	コメント	
書類の整備状況	各工事管理記録		C1・B1の設置記録がない。 地盤改良の工事管理記録がない。 水浸漏洩の工事管理記録がない。 地盤の工事管理記録がない。 付合せ記録に地盤に関する地主の承諾がない。 地盤改良の記録がない。 根切底の深さが記録されていない。 根切底の地層の記録が記録されていない。 地盤の断面図が記録されていない。	
	工事写真(施工状況・計測状況・仕上状況)		地盤改良報告書に写真が添付されていない。 地盤改良の状況写真がない。 水浸漏洩の状況写真がない。 地盤改良の状況写真がない。 根切底の状況写真がない。 地盤改良の状況写真がない。 地盤改良の状況写真がない。 地盤改良の状況写真がない。	
	施工図・その他		基礎配筋図がない。 アンカーボルト・ホールダウン金物位置図がない。 配筋スリーブ位置図がない。 エレベーター位置図がない。 根コタン位置図がない。 コーネット位置図がない。 マッチング排水位置図がない。 エレベーター位置図がない。 洗面排水位置図がない。 浴室排水位置図がない。 排水排水位置図がない。 排水排水位置図がない。	
地盤	設計図書・申請図書・地盤調査書		設計図書が整備されていない。 申請図書が整備されていない。 地盤調査報告書が整備されていない。 水田など軟弱地盤を指定している。	
	造成状況		造成内の水はけが悪い。 造成に足場などが残っている。 造成内に障害がある。	
	■写真撮影		切土・盛土部分があり干固状況下の可能性がある。 シラスなど軟弱に干固な土質である。 大雨時の際に浸透する可能性がある。 雨量が小さいのに地盤改良されていない。	
	※地盤改良		地盤改良の施工状況が悪い。 地盤改良が不足している。 地盤改良が計画通り進んでいる。	
	■写真撮影		地盤改良の状況が不明。 地盤改良の状況が不明。 地盤改良の状況が不明。 地盤改良の状況が不明。	
※地盤の状況	排水状況		排水の状況が悪い。 排水の状況が悪い。 排水の状況が悪い。 排水の状況が悪い。	
	■写真撮影		排水の状況が悪い。 排水の状況が悪い。 排水の状況が悪い。 排水の状況が悪い。	

現場で判定欄  
にチェック結果  
を記入する。

日 月 火 水 木 金 土  
30 1 2 3 4 5 6  
7 8 9 10 11 12 13  
14 15 16 17 18 19 20  
21 22 23 24 25 26 27  
28 29 30 31 1 2 3  
4 5 6 7 8 9 10  
今日: 2007/10/03

(現場チェックの結果を判定欄にクリックで入力。

ファイル(F)    編集(E)    表示(V)    挿入(I)    書式(O)    ツール(T)    データ(D)    ウィンドウ(W)    ヘルプ(H)    Acrobat(B)			
G1	平成19年10月02日		
D	基礎配筋完了検査 1/2	担当者	嵯峨玲玖珠男
		検査日	平成19年10月02日

検査項目	指摘事項チェックリスト	判定	コメント
各工事管理記録	GL・BM設定記録がない。		
	地縄張りの工事管理記録がない。		
	水盛道方の工事管理記録がない。		
	地業の工事管理記録がない。	○	
	打合せ記録に地縄に関しての施主の承認がない。	●	
	転圧回数記録がない。		
	根切底の深さが記録されていない。	●	
	根切底の地層の確認が記録されていない。		
工事写真(施工状況・計測状況・仕上状況)	鉄筋の納品書又はミルシートがない。		
	地盤調査報告書に写真が添付されていない。		
	地縄張りの状況写真がない。	●	
	水盛道方の写真がない。	●	
	地盤改良報告書に施工写真の添付がない。		
	根切底の写真がない。		
	転圧回数がわかる写真がない。		
	防湿フィルムの施工状況写真がない。		
	基礎施工図がない。		
	アンカーボルト、ホールダウン金物位置図がない。		

書類の整備状況

①基礎配筋完了検査

担当者: 嵯鈴玖珠男

検査日:

平成19年10月02日

検査項目	検査内容・基準	判定	写真	指示事項	再検査
書類	各工事管理記録	△		打合せ記録に地縄についての施主の承認がない。根切底の深さが記録されていない。地縄張り状況写真がない。水盛道方の写真がない。	
	工事写真(施工状況、計測状況、仕上状況)	△			
	施工図、メーカー承認図	○			
	設計図書、申請図書、地盤調査書	○			
地盤	造成状況	○	□01		
	地質の種別、地盤の支持力	○			
	※地盤改良の方法	○	□02		
	割栗石、碎石等の状況	○	□03		
	※擁壁の状況	○	□04		
基礎・束基礎	地縄通りの配置	○	□05		
	GLの設定位置	○			
	図面通りの配列、変更箇所の確認	○			
	基礎の高さ、根入れ深さ	○			

判定欄に●が付けられた項目は、文章で指示事項に記入される。

●が付けられたものは、判定欄が△になるが、クリックで変更可能。

検査内容・基準	判定	写真	指示事項	再検査
記録	△		打合せ記録に地縄についての施主の承認がない。根切底の深さが記録されていない。地縄張り状況写真がない。水盛道方の写真がない。	
工事状況、計測状況、仕上状況)	△			
カー承認図	○			
申請図書、地盤調査書	○			
	○	□01		
地盤の支持力	○			
方法				
等の状況				
位置				
位置				
配列、変更箇所の確認				
根入れ深さ				
継手、ピッチ、かぶり厚さ	○	□06		

## 判定記入

判定

☐ ○合格
 ☒ △手直し合格
 ☐ ×不合格
 ☐ -該当せず

決定

戻る

※防湿コン、防湿フィルムの有無	○		
-----------------	---	--	--

基礎コン型枠脱型検査 担当者: 嵯鈴玖珠男 検査日:

検査項目	検査内容・基準	判定	写真
基礎	全長、対角寸法	○	
	基礎の幅、厚さ、高さ	○	□09
	コンクリート打設記録	○	□10
	天端均しの水平さ	○	
	仕上り、養生等の状況	○	□11
その他	先行配管の状況	○	□12

担当者: 嵯鈴玖珠男 検査日:

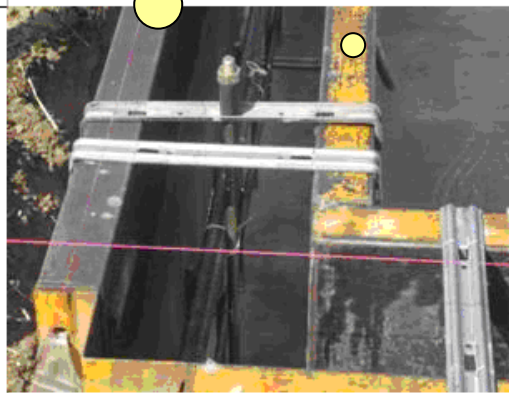
検査内容・基準	判定	写真
寸法	○	
配置	○	

写真番号をクリックすると、写真貼付モードに移行する。

選択された写真は、自動的にサイズが調整される。

カメラ種類、撮影時刻も自動的に記入される。

(07)  
アンカーボルト、品質および種類



F:\2007\_3\IMG\_2706.JPG  
Canon IXY DIGITAL 50 2007/03/01 12:27



F:\2007\_3\IMG\_2707.JPG  
Canon IXY DIGITAL 50 2007/03/01 12:27



## ①基礎配筋完了検査

担当者: 山田太郎

検査日:

検査項目	検査内容・基準	判定	写真	指示事項	再検査
書類	書類の整備状況	各工事管理記録	<input type="radio"/>		
		工事写真(施工状況、計測状況、仕上状況)	<input type="radio"/>		
		施工図、メーカー承認図	<input type="radio"/>		
		設計図書、申請図書、地盤調査書	<input type="radio"/>		
地盤	地盤	造成状況	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 01	
		地質の種別、地盤の支持力	<input type="radio"/>		
		※地盤改良の方法	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 02	
		割栗石、砕石等の状況	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 03	
		※擁壁の状況	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 04	
基礎	基礎・束基礎	地縄通りの配置	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 05	
		GLの設定位置	<input type="radio"/>		
		図面通りの配列、変更箇所の確認	<input type="radio"/>		
		基礎の高さ、根入れ深さ	<input type="radio"/>		
		鉄筋の種類、継手、ピッチ、かぶり厚さ	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 06	
	アンカーボルト	品質および種類	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 07	
		図面通りの位置、数量 @2.7m以内	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 08	
		基礎からの出寸法	<input type="radio"/>		
	基礎金物	※基礎金物の取付け状況	<input type="radio"/>		
	換気口、土間コンクリート	※床下換気口の位置・大きさ、補強鉄筋	<input type="radio"/>		
		配管スリーブの位置、大きさ	<input type="radio"/>		
		土間コンクリートの高さ	<input type="radio"/>		
		※防湿コン、防湿フィルムの有無	<input type="radio"/>		

品質管理チェックシートがA4版でプリントできる。

## ②基礎コン型枠脱型検査

担当者: 山田太郎

検査日:

検査項目	検査内容・基準	判定	写真	指示事項	再検査
	全長、対角寸法	<input type="radio"/>			
	各部分の幅、厚さ、高さ	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 09		



## 6. 中間・完了検査申請システム

- 確認検査機関に提出する中間検査・完了検査申請書を、煩わしい文字入力を可能な限り少なくして作成できる。
- とくに(第四面)の工事監理の状況で、
- 確認を行った部位、材料の種類等
- 照合内容
- 照合を行った設計図書
- 設計図書の内容について設計者に確認した事項
- 照合方法
- などに関して、あらかじめ登録された文字をクリックするだけで記入できる。

建築主に関するデータはキーボードから文字入力。

C6		※	
		(第二面)	
建築主、設置者又は築造主等の概要			
【1.建築主、設置者又は築造主】			
【イ.氏名のフリガナ】	<input type="text"/>		
【ロ.氏名】	<input type="text"/>		
【ハ.郵便番号】	<input type="text"/>		
【ニ.住所】	<input type="text"/>		
【ホ.電話番号】	<input type="text"/>		
【2.代理者】			
【イ.資格】	( ) 建築士	( ) 登録第	号
【ロ.氏名】	<input type="text"/>		
【ハ.建築士事務所名】	( ) 建築士事務所	( ) 知事登録第	号
【ニ.郵便番号】	<input type="text"/>		
【ホ.所在地】	<input type="text"/>		
【ヘ.電話番号】	<input type="text"/>		
【3.設計者】			
(代表となる設計者)			
【イ.資格】	( ) 建築士	( ) 登録第	号
【ロ.氏名】	<input type="text"/>		
【ハ.建築士事務所名】	( ) 建築士事務所	( ) 知事登録第	号

建築士  号  
 建築士事務所  号

建築士選択

代々木次郎  
 原宿三郎

戻る
決定

建築士名は、  
リストから選  
択。

理者】

【イ.資格】	( 一級 ) 建築士	( 大臣 )	登録第	284567 号
【ロ.氏名】	代々木次郎			
【ハ.建築士事務所名】	( 一級 ) 建築士事務所	( 東京都 )	知事登録第	8765 号
	( 株 ) 渋谷工務店一級建築士事務所			
【ニ.郵便番号】	151-0053			
【ホ.所在地】	東京都渋谷区代々木 1 - 1 - 1			
【ヘ.電話番号】	03-1234-5678			

建築士を選ぶと関係  
事項が自動的に記  
入される。

工事監理の状況

確認を行った部位、材料の種類等	照合内容	照合を行った設計図書	設計図書の内容について設計者に確認した事項
敷地の形状、高さ、衛生及び安全			
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料（接合材料を含む。）の種類、品質、形状及び寸法			
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料（接合材料を含む。）の種類、品質、形状及び寸法			

工事監理の状況は、選択候補リストから候補文を選ぶ。

記入項目の選択

選択候補リスト

選択された事項

求積図  
配置図

全てを選択

戻る

決定

クリックし選択された事項が記入される。

## (第四面)

## 工事監理の状況

	確認を行った部位、材料の種類等	照合内容	照合を行った設計図書	設計図書の内容について設計者に確認した事項	照合方法	照合結果 (不適の場合には建築主に対して行った報告の内容)
敷地の形状、高さ、衛生及び安全	敷地	敷地面積、地盤耐力、敷地高低差、公設枳位置	求積図、配置図	なし	実測により確認	適
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料（接合材料を含む。）の種類、品質、形状及び寸法	基礎、土台、軸組	スラブ配筋、コンクリート強度、材料と寸法	仕様書、構造図	なし	目視により確認	適
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料の接合状況、接合部分の形状等	柱の仕口、耐力壁、梁桁接合部	ホールダウン金物、筋交プレート、柱接合プレート、羽子板金物	仕様書、構造図	なし	目視により確認	適
建築物の各部分の位置、形状及び大きさ	配置、各高さ	配置位置、基礎天端しと各階高さ、通り芯位置	配置図、立面図、断面図	なし	目視により確認	適
構造耐力上主要な部分の防錆、防腐及び防蟻措置及び状況	外周廻りの木部	使用材料、施工箇所（GL+1 m）	矩計図、仕様書	なし	目視により確認	適
居室の内装の仕上に用いる建築材料の種類及び当該建築材料を用いる部分の面積	床仕上材、枠材	施工部位の確認、材料の等級	仕様書、確認申請図書	なし	目視により確認、製品データで確認	適
天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上りの材料の種類及び厚さ	クロス、接着剤	認定番号、製品データ	仕様書、確認申請図書、矩計図	なし	目視により確認	適
開口部に設ける建具の種類及び大きさ	サッシ、内装建具	サイズ、位置	仕様書、平面図、立面図	なし	目視により確認	適
建築設備に用いる材料の種類並びにその照合した内容、構造及び施工状況（区画貫通部の処理状況を含む。）	ダクトの被覆	ダクトの種類と被覆	仕様書、平面図	なし	目視により確認	適
備考						

工事監理の状況は、クリックだけで作成できる。

- さらに「シックハウス対策工事監理報告書」も、中間・完了検査申請書で入力されたデータをもとに、作成できる。
- また報告書に添付する材料受入状況、等級表示確認、内装取付状況の写真も、自動的に大きさが調整され貼り付けることができる。
- 記入しなければならない写真説明も、あらかじめ登録されている必要な文字をクリックするだけで作成される。

建築基準法第12条第5項の規定に基づく  
工事監理報告書(シックハウス対策関係)

下記のとおりシックハウス対策における建築工事の施工結果を報告します。  
この報告書及び添付図書に記載する事項は、事実に相違ありません。

殿

工事監理者	住所	東京都渋谷区代々木1-1-1		電話	03-1234-5678	
	会社名	(株)渋谷工務店	一級建築士事務所	東京都知事	登録第	8765 号
	氏名	代々木次郎	一級建築士	大臣	登録第	234567 号
工事施工者	住所	東京都渋谷区代々木1-1-1		電話	03-1234-5678	
	会社名	(株)渋谷工務店	建設業許可 大臣・知事	般-12	第	56789 号
	氏名	渋谷太郎				
建築主	住所					
	氏名					

(法人にあっては、その事務所の所在地・名称・代表者氏名及び社印)

中間・完了検査の  
記入データが転記  
され、1面は自動作  
成される。

G4      ㏽

シックハウス対策確認項目報告	
検査・確認した事項の番号を○で囲んでください。	
建築材料	1. 各居室等の下地における建築材料の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
	2. 各居室等の接着剤の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
	3. 各居室等の仕上りにおける建築材料の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
	4. 各居室等の塗料の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
	5. 造り付け家具等の材料の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
	6. その他(
居室等	7. 各居室等の換気設備において、確認図書の換気計画と同一であることを確認した。(換気ガラリ、アンダーカット等)
	8. 各居室等の換気設備において、確認図書の形状・寸法・規格・機器の性能(換気風量)と同一であることを確認した。

確認項目をクリックすると、○が付けられる。

シックハウス対策確認項目報告	
検査・確認した事項の番号を○で囲んでください。	
建築材料	① 各居室等の下地における建築材料の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
	2. 各居室等の接着剤の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
	3. 各居室等の仕上りにおける建築材料の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
	4. 各居室等の塗料の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。



写真説明入力

日付入力 2007/10/20

写真の種類

材料受入状況
等級表示確認
内装取付状況

写真を貼付、写真の種類、材料名、等級などをリストから選択する。

写真説明入力

日付入力 2007/10/20

写真の種類 材料受入状況

材料名

床フローリング
床下地合板
パーティクルボード
ランバーコア合板
コルク用接着剤
壁紙
壁紙用接着剤
壁用下地合板

等級



材料受入状況  
 受入日 平成19年10月20日  
 材料名 コルク用接着剤  
 等級 F☆☆☆☆



等級表示確認  
 受入日 平成19年  
 材料名 コルク用接着剤  
 等級 F☆☆☆☆



内装取付状況  
 受入日 平成19年10月20日  
 材料名 床フローリング  
 品名 LDK  
 部位 床・壁・天井

写真と説明が付  
 けられた報告書  
 が作成される。